

薬局BCPの作成について



平成30年2月19日
徳島県保健福祉部薬務課
薬事審査・監視担当

本日の内容

- はじめに
- BCPとは
- BCPのポイント
- 薬局BCP作成例について
- 災害時に対応できるOTC医薬品について
- おわりに



はじめに

- 東日本大震災や熊本地震も含め、過去の災害を振り返ると、薬局が地域の災害医療を担う重要な役割を果たすためには、「薬局の業務継続」と「地域と連携した災害医療活動」の2点を求められていることが、より明確になってきました。

はじめに

- 徳島県では、南海トラフ巨大地震に対応するため、平成28年3月に「徳島県戦略的災害医療プロジェクト『基本戦略』」を策定しました。
- 薬局等の薬剤師が「地域と連携した災害医療活動」を実施するため、『災害時医薬品等供給及び薬剤師派遣手順について』を定め、皆様の御協力のもと準備を進めているところです。

はじめに

- 「薬局の業務継続」のためには、薬局版のBCPを作成することが重要です。
- 薬局におけるBCP作成の一助とするため、徳島県は、『薬局BCP作成の手引き』を作成しました。

⇒今回は、内容の一部を紹介します



BCPとは

- Business Continuity Plan（業務継続計画）のことです。
- 災害発生後，患者さん・従業員を守りながら，薬局業務を継続または速やかに再開するための行動計画です。
- 災害時に限られた業務資源で，継続すべき業務ができるよう，事前に必要な準備を行うために作成します。

他の分野では・・・

- 医療機関のうち，災害拠点病院は熊本地震後にBCPの策定が必須要件とされました。
- 事業継続マネジメントシステムの国際規格として，「ISO22301」が2012年に発行され，事業継続に関するアピール手段とされています。

薬局BCP作成の前に

- 最低限の医薬品等の備蓄（3日分程度）
- 地域との連携（後でお話しします。）

BCPのポイント

- 災害時の被災状況を想定し，それを前提に考える。
- 継続すべき業務を絞り込む。
- 継続する業務のサービスレベルの目標，中断する業務の再開目標を定める。
- 目標に応じた対策（例：業務資源の確保）を事前に検討し，実行する。
- 現状と目標の差を常に検証し，継続的に見直す。

BCP作成の進め方

- ①基本方針の策定
- ②被害状況の想定
- ③通常・応急業務の把握と災害時優先業務の選定
- ④業務資源の把握
- ⑤被害想定や予防策を検討
- ⑥業務継続目標の設定と対策の検討

①基本方針の策定

- 薬局としての方針を決めましょう。

<作成例>

- ①従業員及びお客様の安全確保を最優先する。
- ②医薬品等の安定供給（営業の早期開始）を図る。
- ③地域の医療救護活動に参加する。
- ④従業員の雇用確保と地域貢献に努める。災害時の被災状況を想定し、それを前提に考える。

②被害状況の想定

- 薬局のある地域を考慮し、被害状況を想定しましょう。
- 手引きの「様式Ⅱ 被害の状況等の想定」を参考に7日間程度の被害想定を作成しましょう。

<参考>南海トラフ巨大地震：手引きの被害想定1参照

徳島県中央構造線・活断層地震：手引きの被害想定2参照

※被害想定の詳細については、「徳島県防災・危機管理情報安心とくしま」ホームページの「災害・防災」→「地震・津波」を参照してください。



TOP

災害・防災

啓発・育成

危機管理

消防

ガス・火薬

食の安全

- ▶ 災害情報
 - ▶ すだちくんメール
 - ▶ 徳島県防災会議
- ▶ 訓練
 - ▶ 様々な取り組み
 - ▶ 計画・構想
- ▶ 地震・津波
 - ▶ 徳島県防災情報マップ (災害用)

る被害の状況等について (第4報) (2018年2月13日 とくしまゼロ作戦

2月11日からの大雪に関する被害の状況等について (第3報) (2018年2月13日 とくしまゼロ作戦課)

2月11日からの大雪に関する被害の状況等について (第2報) (2018年2月12日 とくしまゼロ作戦課)

2月11日からの大雪に関する被害の状況等について (第1報) (2018年2月12日 とくしまゼロ作戦課)

弾道ミサイル落下時の行動について (平成29年11月30日更新) (2017年11月30日 危機管理政策課)

RSS Atom

>>緊急情報一覧

資料

関連リンク集

ホームページ

徳島県立防災センター

③通常・応急業務の把握と 災害時優先業務の選定

- 限られた人的資源，物的資源を有効に活用するため，優先する業務を決定しましょう。

<参考>

手引きの様式Ⅲ「（通常・応急）業務の把握と災害時の優先業務」参照

④業務資源の把握

- 継続する業務について、優先するものから、必要な人的資源、物的資源を把握しましょう。

<参考>

手引きの様式Ⅳ 「優先業務ごとの評価と対策の整理記載例」参照

⑤被害想定や予防策を検討

- 継続する業務を実施するにあたって、想定される被害状況やそれに対する予防策を検討しましょう。

<参考>

手引きの様式Ⅳ 「優先業務ごとの評価と対策の整理記載例」参照

⑥業務継続目標の設定と 対策の検討

- 発災後のサービスレベルについて、7日間を目安として、目標を設定しましょう。
- 設定した目標を行うため、事前対策を検討しましょう。

<参考>

手引きの様式V 「業務継続目標とその対策」参照

薬局BCP作成後に

- 作成した薬局BCPについて、全従業員が把握するようにしましょう。
- 目標を実施するため、計画した対策（業務資源の確保など）を実行しましょう。
- 必要な人的資源・物的資源がある場合は、薬局開設者に伝えましょう。
- 薬局BCPは、現状と目標の差を常に検証し、継続的に見直しましょう。（PDCAサイクル）

平時の取組

1 薬局BCPの作成

→「南海トラフ巨大地震」，「中央構造線・活断層地震」を想定し，作成をお願いします

2 各支部における支援薬剤師リストの作成

→見直しをお願いします

3 通信手段・連絡体制の確保

→定期的な訓練をお願いします

4 関係機関との連携体制の確立

→薬務コーディネーター・医療機関・近隣薬局・市町村等と顔の見える関係づくりをお願いします

5 研修・訓練

→御参加ください

災害時に対応できる OTC医薬品について

- 重篤な疾患については、災害拠点病院や医療救護所等における治療が必要ですが、限られた人員・医薬品を有効活用するため、軽度な体調不良の方を対象として、OTC医薬品の活用を検討することは、非常に重要です。
- 日本医薬品情報学会が、「災害時に対応できるOTC医薬品集」を作成し、計56品目（28薬効分類）が選定されています。
- 備蓄OTC医薬品を考える際の参考にしてください。

おわりに

- 薬局は、平成18年の医療法改正により、「医療提供施設」として明確に位置づけられています。
- 防ぎ得た死を減らすため、災害時における医療提供は重要であり、薬局の業務継続は求められています。
- 患者さん及び従業員を含む、多くの県民の命を守るため、各薬局において「薬局BCP」の作成をお願いします。





ご清聴
ありがとうございます。
ございました。